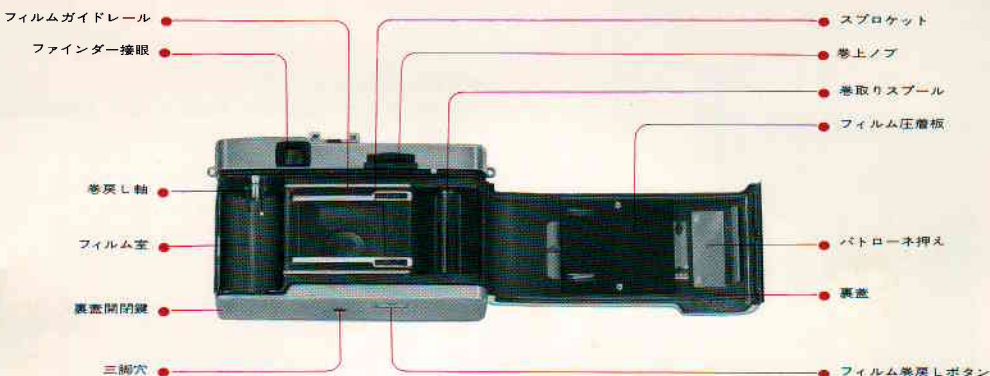
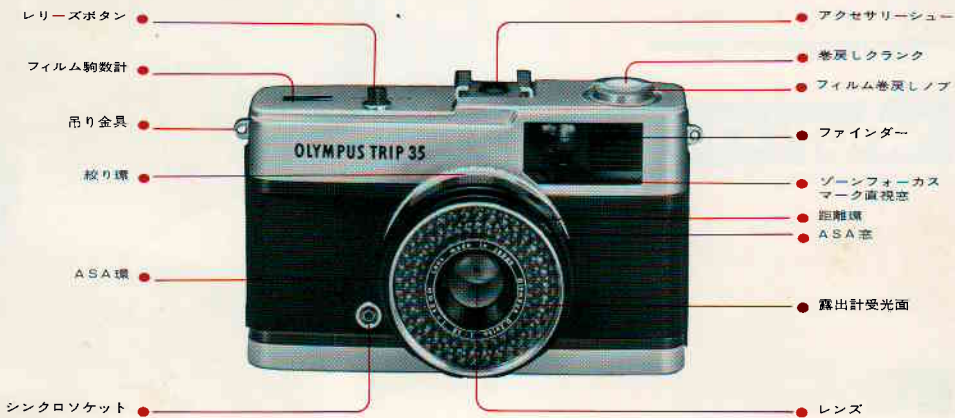


この説明書をひろげて、実際カメラを手にして、写真を見ながらお読み下さい。  
写真にある手の位置がカメラの正しい使いかたですから、よく注意してごらん下さい。



■おもな性能……●フィルムサイズ：24×36mm(35ミリサイズ) ●レンズ：D、ズイコー F2.8 f=40mm(3群4枚) ●シャッター：オリパスシャッター、(自動)プログラム式EE(1/60秒・1/120秒)(手動)1/60秒、シンクロX接点 ●手動絞り目盛：F2.8-22 ●ファインダー：ブライツフレームファインダー0.55倍、パララックス(視差)補正マーク付、ゾーンフォーカスマーク直視、露出不足時赤警告マーク付 ●フィルム装填：ELシステム(イージー・ローディング) ●フィルム巻上：リヤードインディング、セルフコッキング、自動巻上、二重露出防止、二重巻上防止 ●フィルム駒数計：順算式、自動復元 ●フィルム巻戻し：クランク式、巻戻しボタンセット式 ●ピント調節：ゾーンフォーカス式(4点調節)、m(メートル)、ft(フィート)距離目盛付。●露出調節：露出計による自動調節(EE)、露出不足時レリーズロック装置付 ●EE可能範囲：EV8-EV17(ASA100) ●フィルム感度目盛：ASA 25-400 ●裏蓋開閉：蝶番式 ●アクセサリシュー：コードレス接点付 ●大きさ・重量：116(巾)×70(高)×57(厚)mm、410g



撮影をする前には、忘れずにレンズキャップをはずして下さい。

1. まずA(自動)をはずします。

絞り環を回して、A(自動)マークを赤指標からはずし、適当な絞り数値(どれでも結構です)に合わせます。

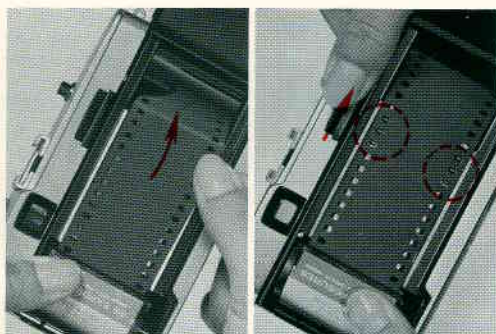
**Auto**

フィルムを入れるときA(自動)をはずす理由は、周囲が暗いとレリーズボタンが押せずフィルムを入れる操作がスムーズに行われない場合があるからです。撮影をする場合は、必ずA(自動)に合わせて下さい。A(自動)に合わせれば、カメラが自動的に絞りとシャッタースピードの適切な組合せを選びE.Eシステムが働きます。

2. 裏蓋をあけて、フィルムを入れます。

裏蓋開閉鍵を下に引くと、裏蓋が自動的にあきます。次にフィルム巻戻しノブを上に出出し、フィルムパトローネをフィルム室におさめ、巻戻しノブを元の位置に戻します。巻戻しノブが元の位置に戻らないときは、左右に少し回しながら押し込むと、楽にカチリと入ります。

※フィルムの出し入れは、直射日光をさけて行ないましょう。



### 3. フィルムがしっかり入っていることを確認し、裏蓋を閉じます。

左手でバトロローネを軽く押さえながら、右手でフィルムを持って少し引出し、その先端を巻取りスプールの溝に差込みます。差込みやすい溝ならどれでも結構です。次に右手で巻上ノブを止まるまで回し、リリースボタンを押して空写しを行います。フィルムのパーフォレーションが両側ともスプロケットの歯にしっかりかかることを必ず確認してから、裏蓋を静かにバチリと閉じて下さい。ここで念のため巻戻しクランクを起し、矢印の方向にノブが重く感じるまで軽く回して、フィルムのたるみをとっておきます。

### 4. フィルム駒数計を1に合わせます。

ここで空写しを更に2~3回行い、フィルム駒数計が1を指すようにします。ここから撮影に入ります。この空写しの途中で巻上ノブが巻上につれて回っていれば、フィルムは正しく送られていることになります。



フィルム駒数計は順算式で、写し終ったフィルムの駒数がダイダイ色の線の先に示されます。自磁はS(スタート)から1、2、4と以下偶数で36まで打っており、フィルムを巻上げると1駒分づつ動きます。撮影が終わって裏蓋をひらくと、フィルム駒数計は自動的にSの位置に戻ります。




### 5. フィルム感度を合わせ、A(自動)にします。

鏡胴の先端のASA環を回して、ASA窓に使用するフィルム感度(ASA)ができるようにします。例えばSSフィルムなら100に合わせます。次に絞り環を回して、A(自動)を赤指標に合わせます。クリックストップ



になっていきますので、カチリと止まります。エイ・エス・エイあるいはアーサーと読み、最も一般的に使われているアメリカ規格のフィルム感度表示です。特にトリップ35のようなEEカメラでは、フィルムの外箱に記載されているこのASA数値を間違えずにカメラにセットすることが、適正露出を得るための大切な条件になります。なおASA32のフィルムを使用する場合は、ASA40を代用して下さい。

### 6. ピントを合わせます。

写したいものまでの大体の距離を目測し、距離環を回して、適当なゾーンフォーカスマークを赤指標に合わせます。またファインダー内の右下に小窓があり、そこからゾーンフォーカスマークが見られ、ファインダーをのぞいたままでも、ピント調節ができます。一般の撮影の場合は  に合わせておけば、いちいち距離を合わせなくても、大ていピントが合うようになっていきますので大変便利です。フラッシュ撮影や精密なピントが必要なときは、ゾーンフォーカスマークとちょうど正反対の裏側にある距離目盛をご利用下さい。



ゾーンフォーカスマーク直視窓 →




### 7. ファインダーをのぞきます。

カメラをしっかり構え、ファインダーをのぞいて構図を決めます。写したい被写体が、ファインダーの白い光枠の内側一杯に入るようにして下さい。

- 1m以内の近接撮影のときは、光枠内部の小さな指標がかこむ範囲に、写したいものが入るようにします。
- また写したいものが暗すぎて、EE(自動露出)の限界外ならば、赤いマークがでて警告を発し、シャッターは切れません。このような場合は、フラッシュ撮影をして下さい。(フィルムを巻かなくても、リリースボタンを押して赤マークが出るかどうか確認することができます)
- カメラは、下の写真のようにしっかりと構えて下さい。特にリリースボタンを押すときは、指を立てずに、指の腹で静かに押し下げるのがコツです。




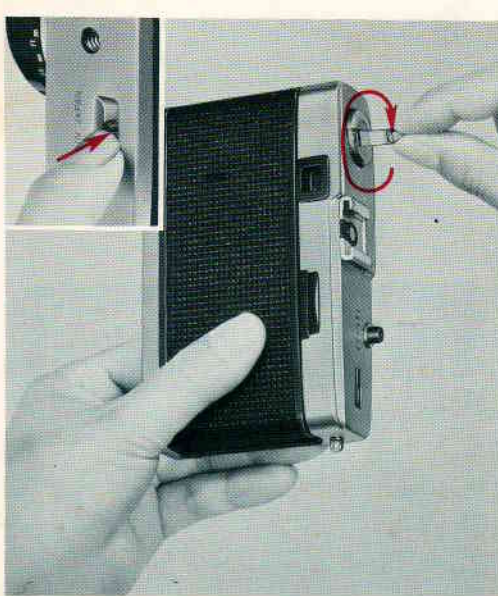
- ヨコ位置にカメラを構えるときは、両手をカラダにしっかりとつけて下さい。
- タテ位置のときは、右手をカラダにしっかりとつけ、左手でカメラが動かないように保持します。

ゾーンフォーカスマーク    

距離 1 m 1.5 m 3 m ∞

被写体 クローズアップ(半身像) グループポートレート(風景アップ) スナップ(風景)

※  を通り越して止まったところは最近接で90cmです。



## 8. フィルムを巻戻します。

撮影が終わったら、フィルムを巻戻します。撮影が終わったかどうかは、フィルム駒数計が12や20または36になったことでわかります。

フィルムの巻戻しは、まずカメラ底部のフィルム巻戻しボタンを押込みます。(押込むだけで、フィルムが巻戻せる状態になる巻戻しボタンセット式です。)

次に巻戻しクランクを起し、クランクの矢印の方向に回して下さい。フィルムを巻戻している間は、クランクが重く感じますが、フィルムが巻取られ、巻取りスプールからフィルム先端が外れると急に軽くなります。なお、巻戻しの際は念のためレンズキャップを付けて巻戻しの方が安全です。こうして巻戻したら、直接日光の当たらないところで裏蓋をあげ、フィルム巻戻しノブを引出して、フィルムを取り出して下さい。

# 8



## フラッシュ撮影

# 1

●赤い警告マークがでるような暗い被写体の場合には、フラッシュ撮影をして下さい。特にコンパクトスタイルの専用フラッシュ装置が、コードなしで使えるので便利です。

# 2

●フラッシュ撮影の場合は、絞り環を回してA(自動)をはずし、被写体までの距離に応じた絞り数値(フラッシュバルブの箱に記載されています)に合わせて下さい。この場合シャッタースピードは、 $\frac{1}{60}$ 秒になります。

# 3

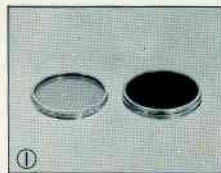
●オリンパスPS200クイックやフラッシュCLは、カメラ上部のアクセサリシュー(コードレス接続付)に差込むだけで電氣的に接続します。距離と絞りの関係はフラッシュ装置に付いている露出表を参照して下さい。

# 4

●一般のフラッシュガンやストロボを使用する場合にはアクセサリシューに差込み、フラッシュの接続プラグをカメラのシンクロソケットに取付けます。

## 付属品をお揃え下さい

- ①オリンパスフィルター  
43.5mmねじ込み式  
UV、Y2、IA、81C、82C、ND 4
- ②アタッチメントレンズ  
f=30cm、43.5mm  
レンズの前にねじ込んで使用する近接撮影用補助レンズです。レンズの前端より29.6cmまで近づけ、26.4×17.6cmの範囲が写せます。
- ③オリンパスフラッシュCL  
AG-3Bタイプのバルブを使う超小型フラッシュガンです。
- ④オリンバスクイックオート 240 <電池別>  
ダイレクトコンタクト接点とシンクロコード接続両用のシリーズオートストロボです。オート2段とマニュアル切替が可能です。  
●GN、24・ASA100・m●電源、単3乾電池4本かF・ACアダプター(別売り)使用●大きさ・重量、95×90×57mm・210g(電池別)



- ⑤オリンパスPS200
- ⑥オリンパスPS200クイック <電池別>  
超小型軽量ストロボでアクセサリシューに差込むだけで電氣的に接続します。  
●縦位置専用●ガイドナンバー14(m)●アルカリ乾電池2本(PS200)、4本(PS200クイック)で200回以上発光  
●発光間隔7秒(PS200)、2.5秒(PS200クイック) ●大きさ・重量、31×55×64mm・75g(PS200)、32×73×71 mm・95g(PS200クイック)

●特殊な撮影テクニック

露出はカメラまかせといっても、次のようにE.E.カメラでは良い結果に写らない特殊な場合があります。

1) 逆光撮影(光源へ向って撮影する)の場合

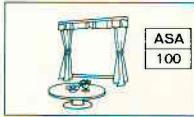


●ASAがそのままですと、人物は黒く陰になってしまいます。



●ASAを半分位におとすと、人物がきれいに写ります。

2) 暗い所から明るい所を撮影する場合



●ASAがそのままですと、部屋の中が写って外景が白っぽくなります。



●ASAを2倍位にすると、外景がよく写ります。

●カメラは大切に  
しましょう

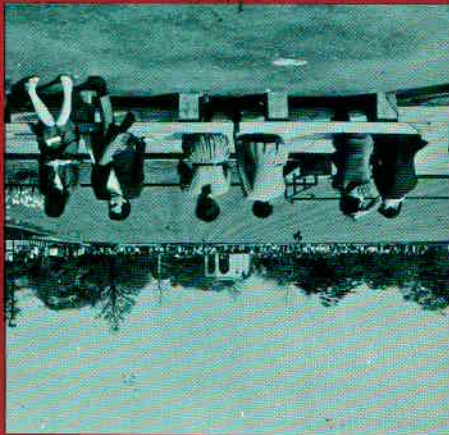
- カメラには、ホコリや湿気が大敵です。保管する場合は、できるだけ乾燥した空気の流通のよいところにしまってください。
- レンズには指をふれないで下さい。もし指をふれてしまったら、すぐ清潔なノリのついていない木綿布で拭いて下さい。そのままにしておくと、指紋などがとれなくなってしまいます。
- 海岸で撮影したあとは、カメラの表面を柔らかい布で良く拭きとり、塩分などがついたままにしないで下さい。
- 鉄の箱やテレビやラジオのそばに長く置かないようにして下さい。
- カメラの具合が悪い場合は、すぐ最寄りのオリンパスサービスステーションにお持ち下さい。
- 撮影されたフィルムをサービスサイズにプリントされる場合、その仕上がりの画面は原版より若干せばめられますのでご注意ください。

JJP35 1278.8MB

オリンパス光学工業株式会社

東京・有明区有明3-22-10 電話 03-3541-1111

東京 151 東京区有明3-22-10 電話 03-3541-1111  
 東京 101 東京都千代田区有明3-22-10 電話 03-3541-1111  
 大阪 42 大阪府東淀川区有明3-22-10 電話 06-732-1111  
 名古屋 69 名古屋市中区東区有明3-22-10 電話 052-232-1111  
 福岡 80 福岡市中央区有明3-22-10 電話 092-282-1111  
 札幌 90 札幌市中央区有明3-22-10 電話 011-242-1111  
 仙台 98 仙台市青葉区有明3-22-10 電話 022-252-1111  
 新潟 95 新潟市中央区有明3-22-10 電話 025-262-1111  
 金沢 92 金沢市東区有明3-22-10 電話 076-272-1111  
 富山 93 富山県市東区有明3-22-10 電話 077-282-1111  
 石川 94 石川県市東区有明3-22-10 電話 077-292-1111  
 福井 91 福井県市東区有明3-22-10 電話 077-302-1111  
 山梨 96 山梨県市東区有明3-22-10 電話 055-312-1111  
 長野 99 長野県市東区有明3-22-10 電話 026-322-1111  
 岐阜 50 岐阜県市東区有明3-22-10 電話 057-332-1111  
 愛知 46 愛知県市東区有明3-22-10 電話 053-342-1111  
 三重 47 三重県市東区有明3-22-10 電話 059-352-1111  
 滋賀 48 滋賀県市東区有明3-22-10 電話 075-362-1111  
 京都 60 京都市東区有明3-22-10 電話 075-372-1111  
 大阪 52 大阪府市東区有明3-22-10 電話 06-732-1111  
 奈良 49 奈良県市東区有明3-22-10 電話 074-382-1111  
 和歌山 64 和歌山県市東区有明3-22-10 電話 073-392-1111  
 徳島 37 徳島県市東区有明3-22-10 電話 087-402-1111  
 香川 38 香川県市東区有明3-22-10 電話 087-412-1111  
 愛媛 39 愛媛県市東区有明3-22-10 電話 089-422-1111  
 高松 40 高松市東区有明3-22-10 電話 087-432-1111  
 岡山 41 岡山市東区有明3-22-10 電話 086-442-1111  
 広島 43 広島市東区有明3-22-10 電話 082-452-1111  
 山口 44 山口県市東区有明3-22-10 電話 083-462-1111  
 徳島 37 徳島県市東区有明3-22-10 電話 087-402-1111  
 香川 38 香川県市東区有明3-22-10 電話 087-412-1111  
 愛媛 39 愛媛県市東区有明3-22-10 電話 089-422-1111  
 高松 40 高松市東区有明3-22-10 電話 087-432-1111  
 岡山 41 岡山市東区有明3-22-10 電話 086-442-1111  
 広島 43 広島市東区有明3-22-10 電話 082-452-1111  
 山口 44 山口県市東区有明3-22-10 電話 083-462-1111



使用説明書  
**OLYMPUS TRIP 35**